

# 矢作だむっこ

11号

2007.10

国土交通省中部地方整備局  
矢作ダム管理所 広報誌



## 全国へぼの巣コンテスト (恵那市串原)

貴重な蛋白源として、山間地の限られた地域にだけ「食」の習慣があるへぼ(クロスズメバチ)。全国へぼの巣コンテストは「へぼの村串原」を全国にPRするイベントとして開催。毎年100を超えるへぼの巣が出品されます。会場では、へぼの巣の即売をはじめ、へぼ五平もち、へぼご飯や特産のこんにやくなどが販売されていますから、出品者以外でも楽しむことができますよ。今年は11月3日(土・祝)8:30から行われます。

お問い合わせ先

串原振興事務所 TEL.0573(52)2111

特集

## 矢作ダムのはたらき

矢作川森林の守人

## 木づかい市民ネット

矢作水源フォレストランド通信

## 『炭やき祭 in 奥矢作湖』を開催しました。

矢作ダム水源地域の 四季のみどころ手帳 / 水源地域ならではの味

## 矢作水源フォレストランド通信

矢作水源フォレストランドとは、矢作川流域住民と自治体、矢作ダム管理所が共同で策定し実現する水源地域活性化のための活動《矢作ダム水源地域ビジョン》の活動名。このコーナーでは、矢作水源フォレストランドが行う活動の最新情報をお知らせします。

### 水源の魅力をもっと発信！ 「炭焼き祭りin奥矢作湖」を開催しました。

平成19年7月21日(土)、奥矢作湖・炭焼きの里にて、「炭焼き祭りin奥矢作湖」を開催しました。皆さんに楽しみながら矢作水源地域の魅力を知って頂くとう開催されたこのイベントは、矢作川のアユつかみ取りやダム湖面の遊覧、矢作ダム見学会や水源地域の特産品販売など皆さんのコーナーが設けられました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、大勢の皆さんやご家族連れにご来場いただけました。今後も水源地域における年に一度の夏のイベントとして、この地域の魅力を多くの皆さんに発信していこうと考えています。



このイベントの中で行われたダム見学会のようすです。普段間近にみることの出来ない矢作ダムの大迫力に、みなさん驚いておられました。

### アンケートにご協力ください

本広報誌「矢作だむっこ」や矢作ダムについて、読者のみなさんのご意見をお聞かしています。また、矢作ダムに関する「疑問」や「要望」もあわせてお寄せください。お寄せいただいたみなさんからの貴重なご意見は、今後のダム管理や広報誌の制作に活かしてまいります。



お答えいただいた方の中から  
**50名様**  
にプレゼント!

### 編集後記

「矢作だむっこ11号」をお読み下さりありがとうございました。今回は、矢作ダムが皆さんの暮らしとどのように関係しているかを知って頂きたいと思い、矢作ダムのはたらきについて詳しくまとめてみました。これからも、皆さんに身近な矢作ダムであるため、この夏行った「炭焼き祭り」など、皆さん楽しんで頂けるようなイベントを積極的に実施していきたいと思っています。ダムの見学もいつでも受け付けておりますので、ぜひ矢作ダムにお越し下さい。また、今号にもアンケートはがきを付けましたので、ご意見ご感想をお聞かせ下さい。

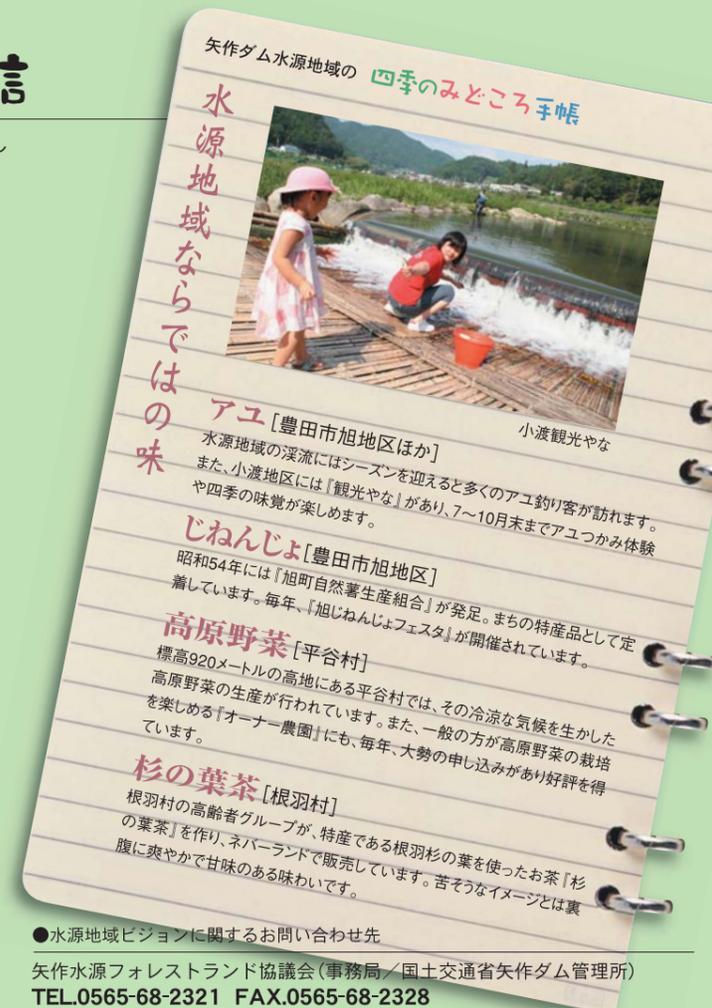
## 矢作ダム 国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県豊田市閑羅瀬町東畑67  
TEL.0565(68)2321 FAX.0565(68)2328  
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

●矢作ダム管理所広報誌「矢作だむっこ」は以下の場所で入手できます。

愛知県／豊田市、旭支所、稲武支所、下山支所、足助支所、藤岡支所、小原支所  
岡崎市、碧南市、安城市、西尾市、一色町、吉良町、  
西三河農林水産事務所、豊田加茂建設事務所、西三河建設事務所、知立建設事務所  
岐阜県／串原振興事務所、上矢作振興事務所、恵那建設事務所 長野県／根羽村、平谷村

この広報誌は再生紙を使用しています。



●水源地域ビジョンに関するお問い合わせ先  
矢作水源フォレストランド協議会(事務局/国土交通省矢作ダム管理所)  
TEL.0565-68-2321 FAX.0565-68-2328

郵便はがき

料金受取人払郵便

足助支店 承認 **1**

(受取人) 愛知県豊田市閑羅瀬町東畑67

国土交通省 中部地方整備局 矢作ダム管理所

矢作だむっこ11号 アンケート係 行

差出有効期間 平成21年11月30日まで (切手は必要ありません)

矢作ダムや矢作川に関する質問、本広報誌「矢作だむっこ」に対するご要望などございましたらご自由にご記入ください。

氏名 (性別 男/女 年齢)

〒

住所 電話

職業 1.会社員 2.主婦 3.学生 4.無職 5.その他 ( )

どちらでこの広報誌「矢作だむっこ」を入手されましたか。

キリトリせん

# 矢作ダムのはたらき

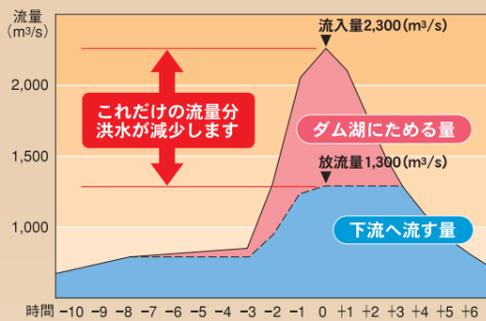
みなさんの暮らしに安らぎと潤いを。  
矢作ダムは2つのはたらきで、  
地域を支え続けています。

広大な三河平野を流れる矢作川は、明治枝下をはじめとする数多くの用水や、水力発電などで、地域の発展に大きく貢献してきました。しかしその反面、洪水の脅威と不安定な流況は地域開発の大きな妨げとなっていました。矢作ダムは、地域の安定した発展のため、洪水調節と利水の2種類のはたらきを持つ多目的ダムとして昭和46年に建設されました。

矢作ダムのはたらき

1

## 治水



大雨などの時、川を流れる水を一時的にダム湖にため、下流に流れ込む水の量を減らすことで洪水被害を少なくしています。

矢作ダムのはたらき

2

## 利水

### 農業用水

豊田市、岡崎市など西三河地域の12595ヘクタールの田畑に水を届けています。

### 水道用水

西三河地域の9841000人分の水を供給することができます。

### 工業用水

衣浦臨海工業地帯、碧南市、半田市、刈谷市、高浜市、武豊町、東浦町)とその背後の工業地帯(豊田市、岡崎市、安城市、西尾市、幸田町)および名古屋南部臨海工業地帯の鉄鋼、金属、重化学、繊維等工業に給水しています。

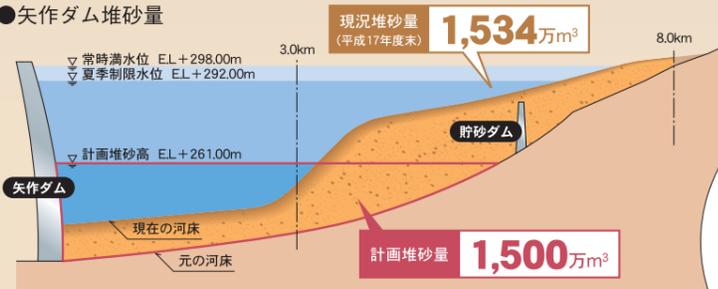
### 発電

他の水利利用に支障のない範囲で、水力発電を行っています。ダム直下流の第一発電所と時瀬発電所を合わせると、最大出力67000キロワットのクリーンなエネルギーを生み出しています。

## 課題

### 堆砂問題

### ●矢作ダム堆砂量



東海(恵南)豪雨では、約280万m³の土砂が一度に流れ込み、年平均約20万m³で増加していた矢作ダムの堆砂量を、一気にはね上げてしまいました。



現在平成17年度末までに合計で1534万m³の土砂が矢作ダム貯水池には貯まっています。これは、ダム建設当初に計画していた堆砂量の1500万m³をすでに超えた量となります。矢作ダム管理所では、矢作ダム堰堤改良技術検討委員会などを通じて、地域の方々と共に今後の対策を検討するなか、平成18年からは、貯水池から取り除いた堆積土砂を公園の造成に活用する新たな対策がスタートしています。



## 矢作川森林の守人たち①

# 木づかい市民ネット

「矢作川漁業協同組合が百周年記念で環境漁協宣言を行った際、サラリーマンだった私が委員を任せられました。矢作川は環境を良くしていくという趣旨がこの宣言には込められているのですが、何の知識や経験もなかった私は、退職後、豊田市が主催する森林塾の門を叩き、間伐の仕方、木の切り方などを一から勉強しました。その時、二緒だった受講生と間伐のボランティアを始めたことが森林保全活動に足を踏み入れるきっかけなんです」

愛知万博の間伐材を活用する『矢作川間伐材利用プロジェクト』では、市民代表として携わり、裕さんは木工による間伐材利用を通じた森林保全に力を注ぐようになっています。

「万博後も、知り合った仲間と活動を続けた」といふ意気込みとは裏腹に、木工作業を行うための活動拠点が無く困っていたところ、同じ間伐材利用プロジェクトの委員から、ホームセンター駐車場の一角を作業の場所として借り受けることが叶い、木づかい市民ネットは本格的な活動を開始します。現在では、木工製品の展示・即売、親子木工教室から間伐まで行い、活動の枝葉はどんどん伸びています。

「嫌になれば参加しなればいい。だから、活動を継続させるためには『和』が一番大切なんです。今は、一般募集で参加していただいた地域の方々と一緒に、豊田市八幡町にある旭高原の湿地帯で、湿地とハナノキなど、自生する湿地植物を保護・観察するための木製の回廊づくりを行っています。葉の裏が美しい銀色をしているハナノキ、秋の落葉時には木製の回廊が銀色に生まれ変わり、感動的な景色が見られることですよ」

発案者がこの指止まれと上げた指に止まった人たちがそれぞれの活動を進めて行けば良いという裕さん。木づかい市民ネットからは、たくさんのご指摘も届いていますが、みなさん、ご心配のあまりには、森は良くなりません。みなさんもこれを機会に森林保全への関心を、行動へと移してみたいかがでしょうか。

親子木工教室は、今年で4回目を開催。8月に行われます。



キトリセン



旭高原で「木製の回廊」づくりを行う木づかい市民ネットのみなさん。中央が裕さんです。木立のトンネルを抜けるように、回廊は設置されます。(作業は10月30日まで)



間伐や間伐材の利活用を实践

### ●もっと詳しく知りたい方は

木づかい市民ネットホームページ  
<http://kizukai.org/>  
をご覧ください。

作品は展示即売もされています。

「木づかい市民ネット」は、木工を通じて、木のある生活や地元木材の良さを理解し、森林保全の意識向上を図りたいと、木工教室や木工イベントなどを開催しています。今回は、代表を務める裕(はざま)伸夫さんにお話をうかがいました。

## 矢作だむっこ・11号 読者アンケート調査

### ① どのコーナーが一番興味深かったですか。

(該当する数字ひとつに○を付けてお答えください)

- 1 特集/矢作ダムのはたらき
- 2 矢作川森林の守人たち/木づかい市民ネット
- 3 矢作水源フォレストランド通信
- 4 矢作ダム水源地域の四季のみどころ手帖
- 5 その他 ( )

### ② 矢作ダムのどんなことがもっと知りたいですか。

(該当する数字ひとつに○を付けてお答えください)

- 1 ダム湖の堆砂対策
- 2 洪水から下流域を守る治水機能
- 3 ダム湖の水を活用する利水機能
- 4 ダム機能を十分に発揮させるためのダム管理業務
- 5 ダムやダム湖周辺で行われている工事の最新情報
- 6 矢作ダム水源地域ビジョンの最新情報
- 7 ダムで行われるイベント情報
- 8 その他 ( )

### ③ 掲載内容や矢作ダムに関する疑問や要望をお書きください。

(自由にお書きください)